

めぐみ

鎮西敬愛学園通信

No. 72 2017年 秋号

敬愛幼稚園／敬愛中学校／敬愛高等学校

〒 800-0035 北九州市門司区別院 6 番 1 号

中・高 TEL 093-381-3537 FAX 093-391-8049

幼稚園 TEL 093-371-2267 FAX 093-391-9385

敬愛小学校

〒 800-0057 北九州市門司区大里新町 1 1 番 7 号

TEL 093-381-0611 FAX 093-381-0601



合 同 制 作 作 品

敬愛祭 つまようじアート合同制作作品

こづば

自分を相手に置き換える想像力を
身につけたいものである

日野原 重明

今日、パソコンやスマートフォンを使えば、どんなことでもすぐに答えが得られるようになりました。しかし、すべてがそれで分かるわけではないようです。心もその一つでしょう。心は目に見えるものではなく、それ故、想像する以外に他者の心のあり様を知る術はありません。そして、そこに求められる想像力は、経験を通して育まれるものだと思います。

私たちは、日々新しい経験を積み重ねながら生きています。嬉しいことや楽しいこともあります。逆に辛いことや悲しいこともあります。それら一つひとつの出来事を前にして、その都度さまざまなことを感じたり考えたり。そうして想像力は豊かになっていくのでしょう。

振り返ってみると、何気なく過ごしている日常に、いつも私を見守り支えてくれる存在があることに気付かされます。私を私のままに受けとめ、共に喜び、共に涙してくれる。その優しさや温もりに触れたとき、心が温かくなるのを感じます。そして、私もまた、私が受け取ったその優しさや温もりを伝えていきたいと思っています。

ただ、時々心が自分自身のことではいつぱいになり、相手のことを考える想像力が働かなくなるときがあるのも事実です。だからこそ、どんなときも心掛けて、他者を思う心を忘れずにいたいと思います。他者の心にぴたりと重なることは難しいことですが、相手に寄り添い、相手の心を感じていく。そこに、あらゆるいのちと共に生きる世界が開かれるのだと思います。



敬愛祭

9月9日(土)・9月10日(日)、敬愛祭が行われました。1日目は生徒全員が別院に集まり、部活動やクラス、個人発表が披露されました。2日目は一般公開をし、ステージ発表に加え、地域の方々の協力のもと、様々な展示や販売を行い、大変賑わいました。

本年度は、「継ぐ最高の輝き」をテーマに、全校生徒が一丸となって、これまで築いてきた伝統を継ぎ、その中で生徒一人一人が最高に輝く瞬間を沢山作りたいという思いを込めて、実行委員会を中心に、夏休みから準備が進められてきました。生徒たちの頑張りはもちろんのこと、地域の方々のご協力なしには、この敬愛祭は実現できなかったと思います。敬愛祭までの活動を通し、生徒一人ひとりとって、たくさんの学びや経験を得ることができました。

ご協力していただいた皆様、来校していただいた皆様、本当にありがとうございました。



私は今年、初めて敬愛祭を後から支える役にまわり、さらに実行委員長という大役を務めました。去年は一生徒として楽しんでいた敬愛祭を自分が引っ張り、作り上げていくということに不安を感じながら、それでも全力で頑張ろうという気持ちで仕事をしました。敬愛祭を成功に導くことができたのも、私を支えてくれた同級生や先輩、先生方や協力していただいた皆さんのおかげです。私ひとりでは絶対にこんな素敵な敬愛祭は作れませんでした。

実行委員長を経験して、大切なことを沢山知ることが出来ました。今年の敬愛祭に実行委員長として関わったこと、皆さんの笑顔を見ることが出来たこと、全てが大切な思い出です。本当にありがとうございました。

実行委員長 高校2年 高吉 星奈

高2 ～地域の方々と共に～

高校2年生は、地域の方々からの協力を得て、クラスごとで展示や販売を行いました。

1組は門司の「かのえ」さんと野菜ソムリエ白木さんに協力していただいた野菜カレーの販売、2組は北九州市消防局や門司消防署・藤波会の方々の指導のもとでハザードマップの作成・地震体験・豚汁の炊き出し再現など防災を取り上げました。3組は、「星野園」さんと「なごし」さんの協力のもとで和のカフェを、4組は「Moon」さんのフルーツ商品などを販売する一方で、インスタ映えする写真館を作り上げ、5組はたこ焼き「玉ちゃん」さん協力のもとでたこせんを販売しました。生徒たちは、協力いただいた地域の方々の熱い想いを知り、それを扱う際の細やかな配慮を学び、さらに地元に対する繋がりを持つことができました。ご協力いただいた方々に、厚く御礼申し上げます。



中1紙すき体験

門司区にある、「手漉き和紙ありえ喜色」の橋上さんに指導していただき、一人ひとつずつの手漉き和紙を作りました。和紙には、自分らしい一言や模様を書いて、写真立てに入れ、展示しました。

当日は一般のお客さんへ向けて、手漉き和紙の体験教室を開きました。生徒たちは優しく教えていきながら、一緒に楽しく作っていました。



中2琵琶演奏

筑前琵琶日本旭会の大師範である北田さんに指導していただき、選抜メンバーによる演奏会をしました。一週間という短い練習期間でしたが、放課後も熱心に練習に打ち込みました。

本番では、時折笑顔を見せながら、息の合った演奏と掛け声を響かせました。お客さんからは自然に拍手が起こり、お客さんも演奏者も先生も、皆で琵琶に合わせて歌いました。



中2職場体験学習

7月25日〜27日の3日間に渡り、各事業所で職場体験学習をさせていただきました。日ごろの生活とは違い、緊張した面持ちで、真剣に仕事に取り組むことができました。学校では体験することのできない専門的な実習や、見ることでできない施設、接客の場面など、学ぶことがたくさんありました。事業所へのお礼状を作成し、その後、体験をまとめる活動を行いました。まとめたものは敬愛祭で発表しました。



J R九州病院へ行つて

J R九州病院でたくさんの方とを見学させていただいた中では、一番印象に残ったことは、解剖した後の臓器や骨を見学させていただいたときのことです。臓器は黒い液体に漬けられており、事前に写真で見ただけよりも黒くて、驚きました。今回の学びによって、将来について深く考えるきっかけとなりました。

古賀 悠太（敬愛小）

ハローデイで学んだこと

私はこの職場体験を通して、普段利用しているときは気が付かなかったことを、たくさん発見することができました。中でも印象に残っているのは、レジ打ちです。レジ打ちの仕事は、レジを打つだけではなく、笑顔を絶やさないうでいること、丁寧な言葉使いをすることを常に心がけているとわかりました。

永井 佑佳（敬愛小）



フラワーショップポエム

ポエムでは、花を長持ちさせる方法を学びました。水を定期的に変えたり、おしべを取り除いたりすると良いそうです。また、ラッピングや花の値段の付け方も学びました。花屋さんは予想以上に仕事内容が多く大変ですが、自分たちが手入れした花をお客さんが買ってくれることを考えると、とてもやりがいのある仕事だと思いました。

榎デレクめぐみ（小倉中央小）



職場体験学習にご協力頂いた事業所一覧

新小文字病院、さくら薬局、J R九州病院、北九州空港、クエスト、Be Staff、ハローデイ門司店、門司港駅、松柏園ホテル、日本銀行北九州支店、福岡銀行門司駅前支店、フラワーショップポエム、漫画ミュージアム、せき動物病院、到津の森公園、JICA、いのちのたび博物館

（敬称略 順不同）

貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。

オープンスクールに
多数ご来校いただきました

平成30年度入試に向けたオープンスクールを今年度6回開催しました。昨年度を上回るたくさんの方にご来校いただき、誠にありがとうございました。今年度は、日常の授業の様子をじっくりと見学いただける授業見学会や、1日小学生体験、模擬試験をはじめ、各回ごとにコンセプトを設けて実施し、全ての回に参加される方も多数いらっしゃいました。今号の『慈恩』では、参加された方の感想をご紹介します。



★（9月参加者）5年生のみなさんの学校説明にとっても感動しました。これだけの大人数の大人を前にハキハキと動じずに喋っていたところに一番驚きました。また、理科の教室の前の自由研究物にも驚きました。発想力のすごさを感じました。やはり、1学年のときから教科書だけではない、自ら学習するということの積み重ねがここに繋がっているのだなと思いました。

★（8月参加者）以前のオープンスクールにも参加させて頂き、息子は「敬愛小学校のお兄さん・お姉さんのように英語を話したい！そして、外国の人

とたくさん話したい！」といつも話しています。今回の体験授業も、親子共々楽しみにしていました。今日の体験で就学への気持ちが更に増したところと思います。また、私自身いつも先生方のお話に刺激を受けています。貴重な体験をありがとうございました。

★（7月参加者）学ばれている生徒たちの積極性、自主性、協調性がよくわかり、我が子が本校で学んだ末にどういった子になっているか想像がわくオープンスクールでした。英語の体験授業では、子どものやる気を引きつける授業内容で子どもたちの積極的な授業参加がよく見てとれました。

★（6月参加者）児童が主体的に授業に臨むことができるように、色々な工夫がされていることを興味深く拝見させていただきました。

校内の掲示物は大人が見ても楽しめるものが多く、学びのきっかけが随所に仕掛けられているように感じました。「学びⅡ学力」のみではなく、社会に出て生きていく力を身につけられるようにと言われたことが印象的でした。本日はありがとうございました。本日はありがとうございました。



特集

敬愛の教育
キャリア教育講座

6年生の総合的な学習の一環で、キャリア教育講座を行いました。医師・獣医師・弁護士・新日鉄住金・IT企業・アナウンサー・海外の保育園の先生・高校教師の8人の方にご協力いただき、未来について、そして今の生き方について考える有意義な時間を持つことができました。

子どもたちは興味のある3つの仕事を選び、お話を聞かせていただきました。具体的な仕事の内容から、働くことを通して得られる喜び、社会との繋がりなど、色々なことを教えていただきました。サイバーエージェントの人事担当の方と海外で働く保育士さんは、スカイプでの参加です。時差や距離を超えて、リアルタイムで繋がりが、子どもたちに色々な示唆をいただきました。どの児童も真剣に話を聞いていました。感想を尋ねると、「とても楽しかった！」「いいお話がたくさん聞けました！」と充実感溢れる笑顔で答えてくれました。



3・5年生は、情報の時間にレゴロボットを使ったプログラミング学習を行っています。次期学習指導要領で小学校にて必修化されるプログラミング教育。本校では、試行版を含めて3年目を迎えます。子どもたちは試行錯誤を繰り返しながら、プログラミングの知識だけではなく、論理的に考える力、チームで協力して行動する力を自然に身につけていきます。今後、ソフトバンクのご協力により、ペッパーのプログラミングも実施予定です。



プログラミング学習



幼稚園通信

第40回運動会

9月24日(日)に第40回運動会が行われました。今年は40周年ということで全園児によるオープニングから始まり、たくさんの方の応援がありました。特別プログラムとして幼稚園出身の保護者の方々にも、卒園児プログラムに参加していただきました。

年組さんは初めての運動会で、戸惑う姿もありましたが、最後まで一生懸命頑張っている姿がとても微笑ましく見えました。

年少さんはイス体操でサザエさん一家を表現しました。保護者の方々から「かわいい」と大好評でした。その名残もあり、作品展ではサザエさんの世界を作るようになるほど気に入っています。

年中さんはパラバルーンやマスゲームでかっこいい姿を見せてくれました。特にバルーンは前日も猛特訓をし、当日には空まで届くほどのボールの花火が上がり歓声が沸きました。

年長さんにとっては最後の運動会。マーチングの演奏や組立体操では、沢山の拍手と共に涙される保護者の方もいました。マーチングでは、敬愛幼稚園の園歌を披露してくれました。

たくさん練習をして、保護者の方に見せるのを楽しみにしていた運動会。大成功に終わり、子どもたちもほっとひと安心したようです。保護者の方からの拍手や歓声が何よりの励みになった運動会でした。



おいもほり

毎年地域の方のご厚意で、お芋ほりを体験させていただいています。「いっぱいお芋掘ってくるね!」と気合を入れて芋畑へ出発!!今年はお芋の育ちがよく、沢山お芋がありました。「お芋いっぱい!!」「一緒にひっぱって!!」とお友だちと協力してお芋を掘る姿もありました。

掘った後は、どんなお料理にするかがみんなの話題に。子どもたちは、「天ぷらかな?焼き芋?スイートポテトもいいな!」とお料理してもらうのを楽しみにしている様でした。



バスが来ました!

敬愛幼稚園はバスの送迎も行っています。夏より新しいバスに変わりました。横には赤いチューリップ、後ろには制服を着た男子と女の子が描かれています。職員でアイデアを出し合ってデザインしました。子どもたちもバスを見て「かわいい!!」「赤バスでお出掛けしたいな」と喜んでいきます。



千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要

「千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要」は、浄土真宗本願寺派が、悲惨な戦争を再び繰り返してはならないという平和への決意を確認するため、毎年9月18日に、東京・国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑において行われる法要です。この法要に際し、全国の宗門関係学校に通う中・高校生を対象に平和やいのちをテーマにした作文が募集されました。今回本校の東君が最優秀賞に選ばれました。

平和への道筋

中学3年 東 大悟（敬愛小）

戦後七十年を越えて戦争体験者も高齢化し、生の戦争体験談を聞くことも難化している。僕達中学生が平和を引き継ぐには何をすべきか考えてみた。

昨年八月に家族で広島原爆ドームを初めて訪れた。近代化した市街地を抜けると緑に包まれた原爆ドームが眼前に広がった。猛暑で体から水分が奪われる中、荘厳な気配を感じ背筋が伸びた。七十二年前原爆が投下された日も暑かったのであろう。爆風で建物が無惨にも崩れた状態からは戦争の悲惨さ、恐ろしさを感じずにはいられない。家族で平和について話し合いながら一折一折丁寧に折り上げた鶴を供えた。僕と同世代の学生も多数亡くなったと思うと、

戦争は夢ある青年の命を一瞬にして奪う恐ろしいものだと思って考えさせられた。

授業や書籍、映像で戦争について学ぶことはあるが、その場限りで残念ながらすぐに忘れてしまう。しかし頭の片隅にでも常にとどめておくことが大切だ。

今年の三月に語学研修でハワイを訪れた。事前にハワイの歴史について学んでいた。ハワイはまさに太平洋戦争開戦の地である。パールハーバーでは多くのアメリカ人が犠牲となった。ハワイでの語学研修中、日系人のお宅にホームステイをした。日系人が戦争中二つの國の間で辛い思いをしたことははっきりしない。しかしながら、僕達に対しては親切に心からおもてなしをしてくださった。ありがたかった。

戦争に対して僕がすべきことは正しい知識を得ることだ。中途半端では正しく説明できないからだ。これ

から先、海外へ学びに出た時や、海外から訪れた人に正確に説明できるようにになりたいと感じた。宗教や言葉、肌の色は違えども心は皆一緒だ。丁寧に真剣に物事を考えることが平和への道筋だと思う。

この体験を忘れることなく、いつでも平和の大切さを素直に考える気持ちを持ち続けたい。



注目の生徒コーナー

中学 新生徒会長あいさつ

このたび中学校生徒会長になりました、中学2年の小西里奈です。私が目指すのは、笑顔のあふれる学校です。そのために、校訓である「創造」を中学生徒会執行部は、力を入れていきたいです。自分たちからできることを全力で模索し、生徒の皆さんに「今年はすごいな」と言われるような1年にしたいです。みんなが見ていないところでも全力を尽くすことを欠かさず、1年間頑張っていきます。よろしく願います。

中学2年 小西 里奈（守恒小）



柔道部 市長表敬訪問

中学女子柔道部が福岡国際センターにて8月22日（火）から行われた第48回全国中学柔道大会において、団体戦で準優勝しました。

その結果を10月10日（火）に北九州市の北橋市長に報告を行いました。市長表敬訪問の際に、主将の大本さんは、「準優勝は悔しかったが、高校では三冠日本一を目指して頑張ります。」と話していました。高校でも頑張ってください！



卒業生からのメッセージ

平成25年度卒業 芳田司さん

平成25年卒業生の芳田司です。現在、株式会社小松製作所の会社員として、管理部管理グループに所属しています。

私の日常は、毎朝6時20分から朝練のランニングがはじまり、9時20分から勤務となります。その後は、15時から柔道の稽古を3時間行うという毎日を過ごしています。

私は現在東京オリンピック出場を目指して、目の前の12月に開催されるグランドスラム東京に向けて、稽古に励んでいます。実は3年前のグランドスラム東京に出場したことがきっかけで、オリンピックに出て勝負したいという強い気持ちに変わりました。その理由は、過去のグラン

ドスラム東京で初めて、ロンドンオリンピック金メダリストの松本選手と同じ表彰台に立ったからです。

高校を卒業したあと、すぐ東京に住みはじめ、環境もガラッと変わりましたが、あのきっかけで、徐々に目標がはつきりし、練習内容は変わらずとも、精神的な部分のブレは少なくなり、一つ一つを確実にこなしていく感覚で練習ができました。2016年のオリンピックは結果的に出場することはできませんでしたが、2020年の東京オリンピックに向けての思いは、日に日に強くなっており、たくさんの支えてくれて周りの方々のためにも、日々精進



していきたいと思います。



高校時代を振り返ると、毎日稽古に明け暮れた日々でした。稽古中の厳しい練習が記憶の大半ですが、その中で学校生活として残っているのは、仏教の授業の時間です。その中でも「ご縁」というテーマの授業が心に残っています。仏教の考え方は、とてもポジティブな気持ちになれてとても好きでした。柔道という競技に関わるアスリートとして、感謝の気持ちや人と人とのつながりというのは、本当に大事なことで、全ては「ご縁」である、繋がっているというあの授業で学んだ事は、今も心に深く刻まれています。

感謝の気持ちを大切にしつつ、東京オリンピックに向けてこれからも頑張りたいと思います。応援よろしくをお願いします。

部活動 活動報告

吹奏楽部 学外での活動

8月26日(土)にSJR別院で夏祭り、9月24日(日)JR九州病院のイベントで演奏を行いました。地域交流の一環として、学外での活動にも力を入れており、地域の方々からも好評いただいています。



理科研究部 全国大会出場

8月27日(日)～29日(火)に千葉県の日本大学で行われた缶サット甲子園全国大会に出場しました。発想力やプレゼン力が評価され、ベストプレゼンテーション賞を受賞することができました。



放送部 県大会出場

10月8日(日)に行われた福岡県高文祭放送コンテスト県大会に、敬愛放送部が出場しました。近年結果を出し続けている放送部です。県大会へは、春の大会も合わせて過去6年間で連続11回出場しています。さらなる飛躍を期待しています。



研修報告

龍谷アドバンスト・プロジェクト

私たちは龍谷総合学園の加盟校の一員として、高大連携プロジェクトに参加してきました。参加した3日間は私にとって、濃密で有意義な時間でした。私たちは経営の部門でプロモーション案を考えました。3人で色々な意見を出して自信作を作っては指摘を受け、作り直すの繰り返しでした。悔しさを感じましたが、それ以上に様々な角度からの視点に驚嘆しました。この驚きと発見に満ちた3日間のおかげで柔軟さを身に付けることができたと思います。

高校2年 西嶋 沙樹（敬愛中）



アジア派遣研修〜ベトナム〜

僕は去年1年間オーストラリアに留学しました。そこで多くの人と関わり学ぶ中で、もっと国際感覚を身に付けたいと思いベトナム研修に参加しました。言語や文化の違う人々との関わりを通して、多くの物事を違った視点から見つめることができました。更に、発展途上のベトナムの現状を自分の目で見ることで、とてもいい経験になりました。

高校2年 牛尾 聖光（志徳中）



グローバル人材育成キャンプ

初日は緊張で英語が聞き取れず自分の意思を伝えることができてなくて、悔しく思いました。しかし、2日目からは心に余裕ができたのか、英語も聞き取れるようになってきました。最終日は、グループで世界を変えるために何をすべきかを考え、発表しました。発表は英語だったので緊張しましたが、それ以上にワクワクしました。グローバルキャンプは楽しく、英語力の向上に役立ち、参加してよかったと思います。

高校1年 角森 泰介（柳西中）



敬愛中学校・敬愛高等学校 平成30年度入試日程

敬愛中学校

入試日 **1/5 金** 一般入試
自己推薦入試

- ◇出願期間 12/9（土）～12/16（土）
- ◇合格発表 1/7（日）
- ◇手続日（自己推薦）1/9（火）～1/11（木）
（一般）1/9（火）～1/20（土）

new ※英語検定・漢字検定加点制度有り

英語検定	4,5級	5点	3級以上	10点
漢字検定	5,6級	5点	4級以上	10点

敬愛高等学校

入試日 **1/23 火** A 推薦入試
B 推薦入試

- ◇出願 1/12（金）～1/18（木）
- ◇合格発表 1/25（木）

入試日 **1/30 火** 一般入試

- ◇出願 1/12（金）～1/18（木）
- ◇合格発表 2/5（月）
- ※英語検定・数学検定加点制度有り

敬愛中学校 敬愛高等学校 オープンスクール

11/25±
10:00～12:20

12/2±
10:00～12:20

- 内容 ①敬愛の**学力アップ**の秘訣が分かる学校説明 ④**的場亮**による特別講演会
「**プラス30点の受験の秘訣**」(※11月25日のみ開催です)
- ②授業見学会・個別相談会も同時開催
- ③制服展示・制服試着 (※希望者対象です)
- 龍達也**による特別講演会 (※12月2日のみ開催です)
「**入試突破のための学力アップ特別セミナー**」
- お申込み方法 前日までにお電話・ホームページにて